



農協祭りのカラオケ大会から



今年も老人作品展ではたくさんの作品を展示



商業祭りのチビツ子広場から

総合文化祭

チビツ子広場やカラオケ大会に人気集中

10月19日の山野草展を皮切りに村総合文化祭が開幕。老人や児童生徒の作品展をはじめ、菊花展・書道展などのコーナーが設けられ、会場の村体育館は芸術の秋一色。多くの参観人が訪れ、作品のひとつひとつに足を止め観賞していました。

また、商業祭りや農協祭りではチビツ子広場やカラオケ大会、もちつき大会などが繰り広げられ、子どもからお年寄りまで多くの村民がこの楽しいイベントに参加し、祭りを盛り上げました。

今月のページ

特集 人づくり座談会	
村長と翼団員大いに語る……	2～5
語農会 将来の農業を語り合う……	6
小針さんが自治功労表彰……	7
年末年始の交通事故防止運動……	8
昭和62年度 優良従業員を表彰……	9
公民館だより……	10
お父さんの勉強部屋……	11
お知らせ……	12

生かしたい貴重な体験

過ぎた海外研修

出席者

(順不同・敬称略)

- ・白旗正彦 会社員
- ・吉田悦子 保母
- ・増子貞美 地方公務員
- ・車田次夫 玉川村長
- ・三吉隆之 村公民館長(司会)



貴重な体験を仲間づくりに、話すみなさん

十月二十一日から十一月二日までの十三日間、わたって行われた福島県海外派遣事業「若人の翼」に、団員として参加した川辺の白旗正彦さんら三人が研修を終えて、このほど無事帰国されました。村長にあいさつに訪れた三人は、中国や韓国、マレーシアなど、海外での体験を目を輝かせながら話されました。村づくりの一役を担うこの若さ溢れる三人を迎え、報告を兼ねて座談会を開きました。異国の大地を自分の足で踏みしめてきた十三日間。若者の新鮮な感覚でとらえた実情と、目と耳と肌で感じとってきた「生きた」貴重な体験をみなさんにお届けします。

ぜひ見たかった海外からの日本

司会 今日のは県の派遣事業「若人の翼」に参加された三人の目で見、肌で感じた海外での体験をお聞かせいただきたいと思いをします。

増子 自己紹介も兼ねて、行ったコースや応募のきっかけなどをお話してください。増子さんからお願います。

白旗 今回、中国コースの班長として参加してきました増子です。役場に勤務しております。

吉田 以前から「若人の翼」には関心があり、青年活動が終ってからもサークルなどをとおしてその事業内容は知っていましたが、急に芽が膨らんだというか、海外から日本を見てみたい、現地の同年代の青年たちと交流してみたいという願望が沸々と湧いてきました。

白旗 私は地元東京精工(株)に勤めています。今回の研修で韓国、マレーシア、シンガポールの三カ国を訪問してきました。

私も青年団活動をやっていて時から「若人の翼」に興味がありました。昨年、会社から参加した方がいて、その方にもアドバイスを受けて、行けるものなら、ぜひ行ってみたい。

という気持ちで徐々に膨らんできました。

二週間の休みとなると、他の人にも迷惑がかかります。その点が気掛かりだったんですが、会社では理解を示してくれて、そこは全面的にバックアップしてくれるので、手を振って参加できました。(笑)

その国の人と寝食を共にするホームステイが何と云っても一番の魅力でしたね。ぜひ、体験したいと思いました。

吉田 私は、石川町にある精神薄弱施設の桜が丘学園に勤務しています。今回の「若人の翼」では中国コースに参加し、班長が増子さんでしたので安心しました。(笑)

仕事柄、障害を持った子や自閉症の子たちと二十四時間体と体のぶつかり合いの生活をしていますが、職員がより人間らしく、生活を改善してゆかなくてはと思っています。仕事だけではいい仕事はできない、と言う上司や同僚の激励もあって、視野を広め、人間的にも成長したいと思ってきました。また、中国のあの広大な大陸にも魅かれたのと、日本人特有と

地域と仲間づくりに

感動と実感



車田村長



吉田悦子さん

言われる島国根性なるものも確
めたいと思いました。

交流で深めた国際理解

司会 それぞれみなさん自分の
テーマを持って行かれたわけで
すが、訪問国で風俗や歴史、文
化など直に接し、外から見た日
本、日本を離れて感じたことな
どが数多くあったと思います
が、その点はどうでしたか。

人民に悠然とした 歴史の流れが

増子 中国は共産国として今、
新しい社会主義の国づくりが進
められています。それに関して
ある程度の知識はテレビ等から
知っていました。まず、現状
を見て改めて資本主義社会の日
本を素晴らしいなあと思いまし
たね。
学生たちとの交流があり、日
本のことを知ろうと真剣な表情
で質問していましたが、その真



白旗正彦さん

摯な態度には心打たれたのと同
時に、今まで自分の仕事に対し
て熱意を持ってやってきたかど
うか、純粋な気持ちで頑張っ
てきたかどうか、問い正されまし
た。また、市内の至る所で見か
けた五講四美運動の看板が印象
的でした。国の広報コマースヤ
ルのな役目を果たしているわけ
です。
四千年、五千年の歴史が今な
お悠然と人民の中に流れ受け継
がれているという、中国人特有
のプライド精神がひしひしと伝
わってきました。
一人っ子政策など過酷な面も
ありますが、共存共栄というか、
相互扶助という伝統的な精神が
残っているようで、今の日本が
忘れてきているものに触れて来
たというのも大きな心の収穫で



増子貞美さん

すね。
司会 色々な面でプラスになっ
た研修だった様ですね。次に吉
田さんは同じ国をどんな風にと
らえましたか。
子育てなどに
中国特有のものが
吉田 テーマは仕事柄、子供に
対する考え方に置きました。一
人っ子政策が事実なされていた
わけですが、人口抑制のために
はやむを得ないと思っっているよ
うです。そのせいか、子供連れ
の夫婦を見ても非常に子供を大
事という印象を受けましたね。
ベタ可愛がりではなく、スキン



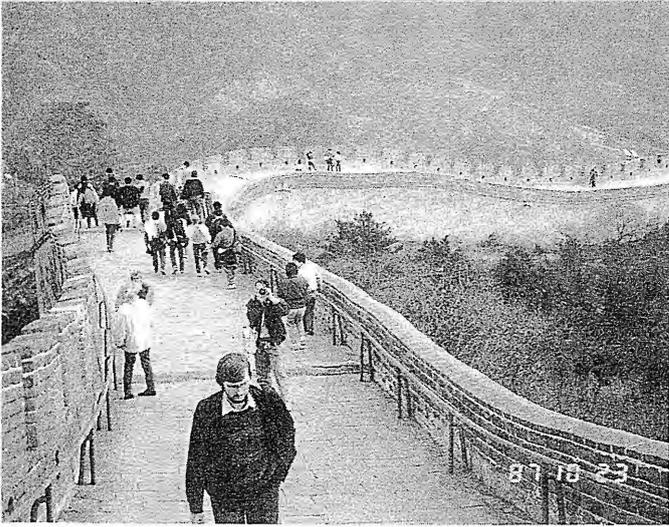
三吉公民館長

シップをし、本当に心底から可
愛がっている風なんです。それ
に子供服なんかは、見栄えより
も実用的な着せ方をしているの
も、この国特有なものを感じま
した。
それと感激したのは何と言っ
てもトイレなんです。(笑)中国
入りして三日目にして、話に聞
いていたとおりの全くドアのな
いトイレに直面することができ
て、その時は何と言っただけか、
背中に何か走るというか、こ
れがああ噂のトイレなのかと実
感しました。
言葉の面では、ある程度漢字
で書けば通じますし、顔も日本
次ページへつづく

一口メモ

五講四美運動
経済建設の中心課
題として、また、そ
の思想的拠点とし
て「礼の国の復活
と精神文明の徹底」
を党が一般人民に
呼びかけたもの。

- 「五講」
- ・講文明
- ・講礼
- ・講秩序
- ・講衛生
- ・講道徳
- ・講美
- 「四美」
- ・心靈美
- ・言語美
- ・行為美
- ・環境美



壮大なスケールの万里の長城（中国）

人に似ているため、違和感なく溶け込めたという感じで過ごしました。
司会 次は白旗さんですが、海外での体験はどうでしたか。
特に感じた日本の平和
白旗 まず、どの国も日本を目標にしているのには驚きました。それと兵役が十八歳から二年半あり、これが終わらない就職や大学進学にも支障をきたすそうで、若い人たちが誰一人として残っていないというのが印象に残りました。
現地の青年たちと交流する場があったのですが、良く勉強して、話をしてもレベルが高いという印象を強くしました。



ホームスティの家族と（マレーシア）

宗教上の違いというのも、その国民性に大きなものを与えるんですね。マレーシア、シンガポールは宴会でもアルコールなしで、乾杯はジュースなんです。南国特有の陽気さで、朗らかな雰囲気になってしまふんです。
韓国では、年上の人を大事にしているというか、目上に対する秩序が守られています。その上非常に愛国心が旺盛です。その現れとしてシンガポールなどでは車や電化製品の八割、九割が日本製品で、これでは貿易摩擦だなあと考えたのですが、韓国では逆に国内の製品を使う配慮が実に成されているんですね。
特に三カ国を回って感じた事



中国の子どもたち

は、どの国も貧富の差が大きいことと、日本は平和な国であるという事です。
司会 行く前と行った後では随分とその国のイメージも違うわけですね。それでは、ここで村長から、若い人たちの報告を聞きまして感じたことがあればお願いします。
期待どおりの的確なとらえ方に感心
村長 一言でいって、素晴らしいという方をしていて実に頼もしい限りです。
私もこれまで二十数回海外に足を運びましたが、二週間の短い期間の中で期待していた通り良く勉強してきてくれたと思います。三人共それぞれ発展途上国だったわけですが、三人三様その国のお国事情を的確にとらえていると思います。現状をどの様にとらえることができるか、その目を持つ事は非常に大切な事ですね。そこから改善点が見

貴重な体験で生かしたい仲間づくり

司会 今回、この小さな村から「若人の翼」に三人が参加したことは、正に村政の国際化時代に対応した国際人の育成という「人づくり」にも貢献しているわけですが、これから地域社会で、職場で、またサークル等での様に還元したいとお考えですか。今後の抱負を一言お願いします。
増子 近くて遠い国と言われてきた中国ですが、今後深いつながりが出てくるものと確信しています。国交を温かく見守ってゆきたいですね。

人づくりは村活性化に必須の条件

つかるわけですから。「若人の翼」には二つの目的があると思うんです。一つには国際人を育てたい、二つには世界は一つなんだという国際親善、草の根大使的な役目なんです。これまでの話を聞いても、その目的は十二分に達成しているんじゃないかと思えます。
なぜ日本は経済大国になったかという経済への視点、友好関係を強化したいという考え方、人づくりの必要性の認識など、今度の研修での大きな収穫ですね。これは知らないうちに大きな知識というか、今すぐ効果が出ないものかもしれませんが、これからの人生の中で生かされる

十三日間の中で得た貴重な体験と、班長というポストで学んだことを職場の中で、また所属するサークルでも生かせるように頑張りたいと思います。それと帰国後、中国の大学生から早速手紙を戴きまして、これも「若人の翼」ならではのものと長く



ソウルオリンピックの会場となるスタジアム

いい勉強になったと思いますよ。

期待の声

この縁を大事にしたいと考えています。

白旗 人生の中で海外で二週間も過ごし、同じ志を持った者が異国で研修するチャンスというのも後にも先にもこれっきりかもしれないですね。振り返ってみても普通の観光旅行では得ることのできないたくさんのものを自分の中に仕入れてきたという感じがします。これから後輩などに機会あるごとに積極的なPRをし、仲間づくりをしてゆきたいと思っています。

吉田 今後は、友の会の会員として後輩の育成に努めたいと思っています。ただ単に友の会だけ

若者は村の担い手 村づくりには大いなる奮起を



小原嗣男さん (南須釜)

「若人の翼」の団員として、今年度は村から三人が派遣されたと聞きましてうれしく思います。

けの活動に留まっていたは駄目です。外に広がりを持ちたいですね。

若者からお年寄りまでさまざまな活動をしています。この各自の活動の連携プレーがうまくいけば、「村づくり」の大きな原動力につながると思うんです。まずは自分の足元から思いつて自分にできる範囲で若い人達にこの考えを広めるパイプ役として役に立ちたいと考えています。

司会 公民館としましても後押しは十分にいたしますので、よろしく願います。それでは締めくくりとしまして、村長に

村づくり、人づくりの観点から若い人たちに對する期待のほどをお願いします。

広めてもらいたい やる気集団の輪

村長 今年の四月に就任してまだ間もないのですが、村づくりの一環として、ぜひ人づくりを積極的に進めたいと考えております。できれば国際に通用する人を十パーセント位つくりたいと思っております。このことは、

村の活性化の必須条件になると思いますよ。ですから、みなさんのリーダーシップがどの位発揮できるか、後継者づくりには

「百聞は一見に如かず」と言

われませんが、日本を離れ、自分の目で実際に見、交流を通して国際理解を深めてきたことと思います。村も福島空港と県営工業団地の二大プロジェクトを抱え、今後飛躍的な発展が期待されています。益々国際化、情報化が進むのではないのでしょうか。しかし、どの様な時でも人間が主役なのは変わりません。人

づくりは村の発展の基礎であり、課題です。ですからその土台となる「人」をしっかりと育てなくてはなりませんね。家庭でも同じことが言えると思います。

その意味で国際感覚を身につけた若者が、一人二人と後に続いてほしいですね。とにかく若い人たちは、これからの村を支える担い手になるわけです。それぞれの地域と職場で今回の体験を生かし、誇りを持って、豊かな村づくりのために大いに奮起してほしいと思っています。

大変期待しています。

今、日本は経済大国であり、素晴らしい国だと言われているますが、反面、日本人の大きな問題としてハングリー精神の欠如、つまり、危機意識が薄らいでいるということがあげられています。これからは強い意志があるかないかが、その国の運命を左右するとまで専門家は予言しています。その点でも人づくりは今後ウェートを占めてゆく分野になってくるでしょうね。

よく「百聞は一見に如かず」と言われますが、地域を見、海外にも目を向けられるような若者が育つよう、私も一生懸命頑張りますので、リーダーとしてPRを積極的に進めて行ってください。また、最初の気持ちを大事にしてください。それをやってみようと思気込んでいます。

若人の翼

「若人の翼」は、県内の優れた勤労青年を海外に派遣し、国際理解を深めさせるとともに広いもの見方を身につけさせ、帰国後、地域社会で積極的に活動を行う青年指導者を育成するものとして昭和48年から実施しています。村内からはこれまでに9人が参加しています。

持ちというものは、二カ月、三カ月、半年と過ぎてゆくうちに忘れてしまいがちなんです。ぜひ、それをやろう」という気持ちをもいつまでも持ち続け、地域に、職場に、そのやる気集団というか、輪を広めて行ってください。期待していますよ。司会 今日はお忙しい中、本当にありがとうございます。

村内の「若人の翼」派遣団員



年度	氏名	地区	派遣コース
51年度	石森春男	山小屋	ヨーロッパ
52年度	有賀明美	吉	シ
53年度	須藤安昭	小高	南アメリカ
54年度	八木喜孝	南須釜	ヨーロッパ
59年度	溝井浩一	小高	シ
61年度	小針幸夫	北須釜	韓国
			マレーシア
62年度	増子貞美	南須釜	中国
	吉田悦子	川辺	シ
	白旗正彦	シ	韓国
			マレーシア
			シンガポール

会農語

村長と後継者が懇談 将来の農業を語り合う

玉川村農業青年会議「語農会」は、十一月十九日夜、村長と農業を語る集いをひたちや旅館で開催しました。

語農会は二十代から四十代前半までの若い農業後継者九十五人で組織し、この日は四十人が出席。小針幸吉会長あいさつの

後、諸外国の農業情勢に精通している車田村長が講師となつて、約一時間にわたり「これからの農業の在り方」について講演しました。

「今までのとれるだけとるんだという農業経営から逆算戦法の経営に切り換え、過去の実績や普及性などを踏まえ、ち密な

計画を立て、行動から考動へ発想の転換が必要だ」などアドバイス。人脈づくりもこれからの農業経営に大きなプラス」と力説しました。

この会議には金成石川農業改良普及所長も出席し、「空港ができるという立地条件を生かし、フライト農業に対応できる付加価値の高い農産物づくりを積極的に取り組んでほしい」と観光農業の開拓に期待を寄せました。懇親会では村長と杯を交しながら膝を詰めて「村の農業」を熟っぽく話し合いました。

十一月二日から指定金融機関が変更 須釜農協から玉川村泉農協へ

村の公金の収納や支払い事務は、現在、専門の金融機関（指定金融機関）に委託して行なっています。

支払い事務の担当も、これまでの大和田宏さんから須藤安昭さんに変更したのでお知らせいたします。

去年は須釜農協がその事務に当たっておりましたが、十月いっぱい契約期間が終了しました。十一月一日から来年十月三十一日まで玉川村泉農協が指定金融機関となりました。また、

これまでどおり各種税金や保育料等の納入金については、役場（本庁）と泉、須釜両農協で取り扱い、支払い事務は役場窓口で現金または口座振替の方法で行います。



村長が将来の農業について熟っぽく講演

成人おめでとう 来春1月15日に成人式



今年の成人式から

成人した若者たちの晴れの門出を祝う成人式が、来春1月15日の「成人の日」に就業改善センターで行われます。成人式を迎えられる皆さんは、昭和42年4月2日から昭和43年4月1日までに生まれた方たちです。村内に住所がある方と、これまでに申し込みのあった方を合わせ該当者は86人です。

住所があるのに名前が載っていなかったり、ふるさとで成人式を迎えたい方は、12月27日までに村公民館（☎57-3101）にお申し込みください。

成人式を迎えられる方（調査日 昭和62年11月11日）

〔川辺〕大竹和代・大和田正人・小針博之・坂本茂明・坂本清則・白旗裕美・白旗千恵子・須藤春子・圓谷洋司・野崎信子・曲山美賀子・矢部辰弥・矢部伸夫・矢部節子・吉田広之

〔蒜生〕大竹好子

〔小高〕荻田富美雄・加藤 純・首藤明美・添田由紀・高原充宏・高原美子・角田国宏・柳沼保幸・藤井はつ子・溝井小百合・矢吹豊美・車田清子・大竹克彦

〔中〕八木直也・永林真理子・小針武彦・小針克美・渡邊典子・

〔岩法寺〕大竹典恵・小林和良・佐久間 豊・本橋明美

〔竜崎〕上野文彦・上野春男・岡部良城・小林ゆり・小林清子・小林春夫・小林恵美子・仁井田清子・湯澤重彦・小林みさ

〔南須釜〕大木洋子・大野勝彦・小山田弘・國井光男・熊谷洋子・小原明和・小原伸二・榊枝洋子・相楽雅彦・塩沢利恵子・関根美紀子・圓谷真由美・藤田幸一・吉村忠幸

〔北須釜〕小針俊則・塩澤久子・塩沢美恵子・関根明美・矢吹和彦・矢吹宏明・車田恵子・矢吹恵子・小針久美

〔吉〕有賀孝司・大和田百紀子・大和田美江子・大和田静・近内弘二・須釜喜一・矢吹藤枝・矢部洋一・矢部政美・佐藤 栄

〔山小屋〕石森新二・滝口義三

〔山新田〕石森松吉・石森悦子

〔四辻〕塩田 晃

乗る人に、ベルトすすめる、思いやり

自治功勞表彰

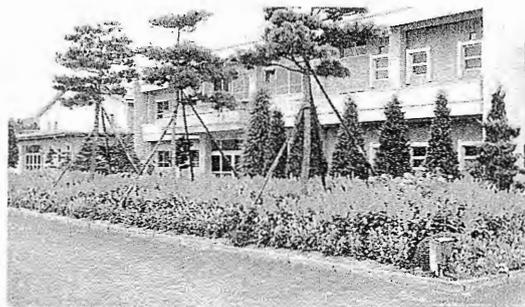
村政発展に多大な貢献

小針千代之助さん



自治功勞の小針千代之助さん

十二月二日前村長の小針千代之助さんが、車田村長から自治功勞表彰されました。小針さんは、玉川村長として四期十六年の長年にわたって村政発展に貢献され、その功績を称え、村表彰条例に基づき功勞章を贈り表彰したものです。受賞誠におめでとうございませう。



県教育長賞を受賞した須釜小の「ふれあい花壇」

竜崎の石井さんと小林さん

農林水産大臣から感謝状

このほど、大字竜崎の石井清春さん(三九)と小林正与さん(五〇)

のお二人に、農林水産大臣から感謝状が贈られ、十月二十八日



小林正与さん



石井清春さん

東北農政局福島統計情報事務所
の安宅所長から伝達されました。
お二人は、農林水産省が農業
の再生産構造の変化や農業所得、
家計費の動向など、農家経済の
実態を明らかにする目的で毎月
行っている農家経済の調査を十
年間にわたって記帳し、協力さ
れてきました。
今回はこれまでにならぬ統計
業務に対する尽力と、その推進
に寄与されてきたことが評価を
受け、表彰となったものです。

花いっぱいコンクール

須釜小が県教育長賞に

花いっぱい県民運動の第二〇
回花いっぱいコンクール表彰式
が、十一月二十五日福島民友新
聞社で行われ、七十六団体が表
彰されました。

村内からは村老人クラブ連合
会が昨年に続き受賞し、今回は
二十周年記念特別賞に輝いた
ほか、須釜小学校が県教育長賞
を受賞しました。

身障者相談員の奥野さんに知事感謝状

去る十月二十二日、福島市の
県文化センターで、第三十七回
福島県身体障害者福祉大会が開
られました。

催され、本村の奥野義章さん(岩
法寺字方丈)に知事感謝状が贈
られました。

奥野義章さん



奥野さんは、現在も身体障害
者福祉会の役員や身障相談員と
して活躍中。今回の受賞は、多
年にわたって地域の福祉向上に
努められてきた功績が認められ
たものです。

日本道路協会会長表彰 環境美化の真弓さん

道路沿いに捨てられている空
カンや紙クズなど毎日のよう

に拾い集め、道路の環境美化に
努められている真弓の真弓永作
さんが、このほど道路功勞者として
社団法人日本道路協会会長から
表彰されました。

真弓永作さん



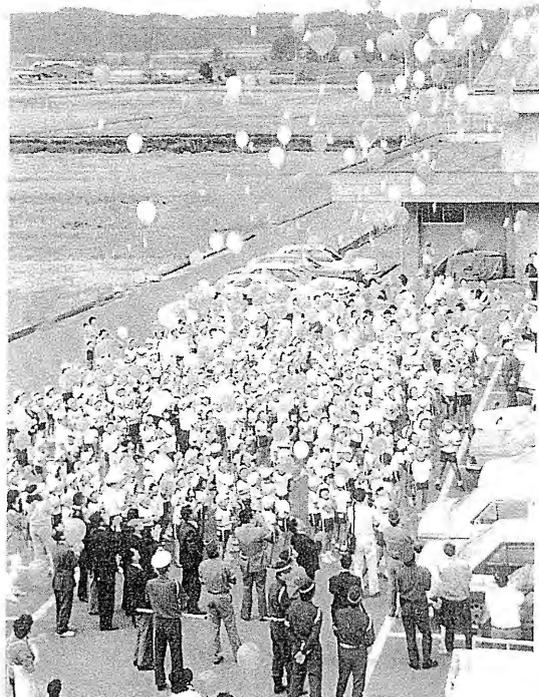
県内では二団体、個人では五
人が受賞されましたが、郡山管
内では個人の部では真弓さんお
一人。一輪車を引き、独特のス
タイルで作業を行っている真弓
さんには、村をはじめ地域住民
からも感謝の言葉が寄せられ、
厚い信望を得ています。

12月1日~1月10日

交通事故防止県民総ぐるみ運動

多くなる年末年始の事故
夜間、冬道の運転は慎重に

年末年始は交通が混雑し、加えて積雪、凍結などから交通事故の発生が多くなる時期です。又、忘年会、新年会等で飲酒運転も心配される季節です。「安全は ゆっくり ゆったり ゆとり ゆずりあい」時間ゆとりをもつて、安全運転を心がけましょう。



誰もが願っている交通安全

昭和六十一年年中の石川管内における交通死亡事故は、五人と昨年を四人上回る多発傾向にあります。本村は、死亡事故はなものの、発生件数二十二件で、昨年の十件を大きく上回っております。年末年始の交通事故を最小限に抑えるためにも、慎重な運転をお願いします。

追放にご協力ください。

1 冬道の交通事故防止

気のあせりは禁物。時間にゆとりをもつて慎重な運転を心がけてください。

- ・冬用タイヤの装着
- ・ポンピングブレーキの励行
- ・車間距離を十分にとる
- ・ライトは早めに点灯する

2 飲酒運転の徹底追放

飲酒運転は大きな社会問題で、一度事故が起きれば、家庭崩壊にもつながりかねません。地域ぐるみで、飲酒運転絶滅にご協力ください。

- ・家庭では来客に飲酒運転させないよう配慮する
- ・職場の信用問題にも大きく影響する
- ・なれあい、見ぬふりから勇断をもってぬけ出す

3 子どもと老人を守ろう

この期間中は、冬休みの時期でもあることから、子供の飛び

出しには十分注意しましょう。又、冬道は色々とアクシデン
トがつきものです。シートベルト、ヘルメットを正しく着用し
てください。

石川管内の飲酒運転者の職業別違反調べ

資料：石川警察署 ()は交通事故内数

職業別	石川管内の計		玉川村	
	61年	60年	61年	60年
職業運転者	4	(1) 3		1
農林業	(2) 33	(2) 15	6	4
建設業	(1) 18	3	1	
土木業	5	3		
サービス業	19	(1) 5		(1) 2
銀行員		1		
飲食業		1		
その他の職業	10	(2) 15	2	1
無職	3	(1) 3	1	
計	(3) 92	(7) 49	10	(1) 8

竜崎第三国民年金組合
社会保険庁長官表彰に輝く

十一月二十日、福島市の県文化センターで開催された昭和六十二年国民年金事業優良団体等の表彰式で、竜崎第三国民年金組合（納税組合）が社会保険庁長官表彰に輝きました。

同組合は、国民年金事業に積極的に取り組み、保険料の納入成績が特に優秀であるとして十六の受賞団体の一つに選ばれたものです。十一月二十五日役場村長室で小林正治組合長に表彰状が伝達されました。



表彰状を持つ小林正治さん

乗る人に、ベルトすすめる、思いやり

昭和62年度優良従業員を表彰 石森さんら30人が受賞

玉川村商工会主催による昭和六十二年度の優良従業員表彰式が、勤労感謝の日の十一月二十三日午前九時二〇分から就業改善センターで行われました。表彰式には、村内の十六事業所から選ばれた三十人が出席。

双里商工会長から受賞者一人ひとりに賞状と記念品が贈られ、受賞者を代表して福島双羽電機(株)勤務の矢吹新一さんがお礼の言葉を述べました。

また、表彰式終了後、元郡山第一中学校長で現在、家庭教育を考える会副会長の神野忠雄さんによる「心の教育」と題する記念講演が約一時間半にわたって行われました。

家庭におけるしつけの大切さなどを強調し、受賞者たちは熱心に聞き入っていました。なお、受賞者は次のとおりです。(敬称略、順不同)

優良従業員として表彰されたみなさん

受賞者名	事業所名
石森 栄吉	(株)玉川畜産センター
石山 幸一	(有)佐藤製作所
石森 四郎	円谷建設
熊田 友治	(株)湯沢組
矢部 千代子	(有)ヤブキ
車田 シゲ子	(株)福島エンヤ
塩沢 弘	〃
永林 志郎	東京精工(株)
有松 光男	〃
須藤 智恵子	〃
佐藤 昭好	〃

車田 姫子	〃
草野 莊蔵	中根精工(株)
小貫 正弘	〃
阿部 謙夫	〃
小原 ミヤ子	〃
矢吹 新一	福島双羽電機(株)
車田 和枝	〃
小林 文香	〃
鈴木 マサノ	〃
瀬谷 孝一	松田木工
瀬谷 勝彦	(株)熊田建設
小原 セツ子	矢部ソーイング
草野 寿幸	駒木根工業(株)
溝井 英雄	〃
石井 キヨ子	〃
吉田 勝代	(有)加藤化工
坂本 富美代	(有)鈴木建設
丹内 知恵子	(有)スズキシャツ
中原 高子	〃

シリーズ

税のアラカルト ㊦

固定資産の

Q アンド A

Q 私は、昭和58年9月に住宅を新築しましたが、昭和62年度分から税額が急に高くなっています。なぜでしょうか。

A 新築の住宅に対しては3年間の固定資産税の減額制度が設けられており、昭和62年1月1日までに新築された住宅が、一定の要件にあたる時は、新たに固定資産税が課税されることとなった年度から3年度分にかぎり、100㎡分までの税額が2分の1に減額されます。

したがって、あなたの場合は、昭和59、60、61年度分については税額が2分の1に減額されていたわけです。

なお、昭和62年1月1日までに新築された3階以上の中高層耐火住宅についても一定の要件にあたる時は、新たに固定資産税が課税されることとなった年度から5年度分にかぎり、税額が2分の1に減額されます。



健康保険と厚生年金保険は、会社、工場、商店などが加入し、そこで働く人々を対象とする社会保険です。これまでは、従業員が五人に満たない事業所は、希望するところだけが健康保険と厚生年金保険に加入することになっていました。ところが法の改正によって昭和六十二年四月一日からは、従業員が三、四人の法人の事業所すべてが加入することが義務づけられました。

これら要件に該当する事業主のみならず、届出の済んでいない方は、郡山社会保険事務所(☎〇二四九一三二三四)へお問い合わせのうえ手続きをしてください。

お済みですか 健康保険・厚生年金保険の 加入手続き

また、今まで任意加入だった農林水産業、飲食店、サービス業等を営む従業員が五人以上の事業所は、昭和六十一年四月一日から加入が義務づけられています。

公民館だより

第16回剣道大会 個人・団体で熱戦を展開

十一月二十三日勤労者体育センターで第十六回玉川村少年剣道大会が行われました。地元の剣友会のほか、浅川町や平田村・須賀川市からも少年剣士二百人が集まり、個人戦と団体戦にわかれ熱戦を展開。



優勝(中学生)の須釜中Aチーム



優勝(小学生)の玉川少年剣友会Aチーム

- 会場には祭日とあつて家族連れで応援する姿も見られ、子供たちは声援を受けながら日ごろの成果を競い合いました。試合結果は次のとおりです。
- *団体の部**
- 優勝 玉川少年剣友会A
 - 準優勝 須釜少年剣友会A
 - 三位 須釜少年剣友会B
- 〈中学生〉
- 優勝 須釜中A
 - 準優勝 泉中A
 - 三位 蓬田中B
- *個人の部**
- 〈小学生〉
- 優勝 坪井清道(蓬田)
 - 準優勝 大野 努(須釜)
 - 三位 斑目 宏(〃)
- 〈中学生女子〉
- 優勝 栢本幸子(浅川)
 - 準優勝 塩沢しのぶ(須釜)
 - 三位 野口美保(泉)
- 〈中学生男子〉
- 優勝 吉田雅弘(泉)
 - 準優勝 遠藤 尚(〃)
 - 三位 熊田光吉(大東)

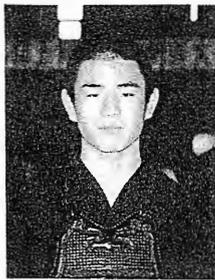


ユーモアをまじえ講演する酒井さん

あいさつを大切に 酒井広さんが講演

文化祭の一環としての文化講演会が十一月十四日村体育館で行われ、約二百人の村民が元NHKアナウンサー、酒井広さん

うれしかった優勝



吉田雅弘君(泉中2年)

今回の村の大会は、地元ということもあつてどうしても優勝

したい大会でした。しかし、団体の決勝戦では須釜Aチームと接戦の末、敗れてしまいました。その悔しさを個人戦で晴らすと必死で戦いました。一回戦から準決勝まで苦しい試合ながらも勝ち進み、ついに決勝に駒を進めることができました。相手はいつも一緒にけい古をしてるチームメートの遠藤尚君。弱点はわかっているつもりでも、いざ試合が始まると彼は

左右に動き、いつもと違った展開をみせました。試合が始まって約一分。最初の一本が決まり、その有利と相手のあせりを突いて一本。そしてついに優勝。賞を受け取ったとき、足が震えるほど幸せな気持ちになりました。ぼくは二年生なので、あと一年はこの大会に出場できます。来年は、団体、個人とも優勝できるように毎日のけい古に励んでいきたいと思えます。

スキ一教室 案内

日時 昭和63年1月24日(日)
場所 磐梯国際スキ一場
対象 村内に居住、勤務の男女(小学生以下は父兄同伴)

定員 45人
費用 1,500円
申込 昭和63年1月9日(日)まで参加申込書に費用を添えて村公民館へ

12月の行事予定

- 9日(水)高齢者生きがい促進会
- 13日(日)第8回少年ふるさと運動(しめなわ作りと閉講式)
- 14日(月)第8回婦人学級(バスケット作りと閉講式)
- 16日(水)第8回高齢者教室
- 18日(金)第2回青少年育成指導者研修会
- 22日(木)第8回青年教室

年金

免除された保険料は

追納しましょう

国民年金の第一号被保険者の属する世帯で、収入が著しく減少し保険料を納めることが困難な方は申請によって保険料が免除される制度があります。

保険料を免除された期間は、将来支給される老齢基礎年金額の計算をする上では、保険料を納めた場合に比べ三分の一(国庫負担分のみ)と低額の年金になってしまいます。

過去の国民年金保険料

年度	保険料月額	保険料年額
52年度	2,200 ^円	26,400 ^円
53年度	2,730	32,760
54年度	3,300	39,600
55年度	3,770	45,240
56年度	4,500	54,000
57年度	5,220	62,640
58年度	5,830	69,960
59年度	6,220	74,640
60年度	6,740	80,880
61年度	7,100	85,200

そこで過去に免除されている期間がある方は、保険料を納めた方と同程度の年金を受けるようにするため、免除されていた期間の保険料を納めることのできる「追納制度」があります。

追納は過去十年間の範囲で、さかのぼって当時の保険料額で納めることができます。低額の年金では将来老後の生活が不安となります。より多額の年金を受けられるよう、保険料の追納をおすすめします。時効になっていない保険料は分割して納められますので、役場住民課国民年金係にご相談ください。

一口医学

乳児ポツリヌス症

あまり聞き慣れない言葉ですが、幼児ポツリヌス症とは一九七六年にアメリカで発見され、ポツリヌス菌による新しいタイプの疾病です。現在までの報告では、生後三週から八カ月までの乳児に発生が見られ、世界各国で約六五〇例、日本では二件の発生が報告されています。

感染源としてはハチミツ、ハウスダスト(埃)等が考えられています。症状は頑固な便秘が三日以上続いた後、吸乳力が低下し、泣き声が弱くなり、顔面無表情や筋肉のハリがなくなつてきます。そして次第に全身の筋力が弱くなり、えん下(口の中の食べ物を胃にのみ下すこと)困難・瞳孔散大、眼瞼下垂などがおきてきます。これらの症状が出た場合は、すぐに医師に相談してください。

お父さんの勉強部屋

19

言葉による表現

東京都立大学教授
説摩 武 俊

人が生まれてから習得するもののなかで、最も貴重で、かつ個人差の大きいものは言語であると思います。わたしたちは、自分の母国語をそれほど苦労することなく覚えます。途中から習った外国語を聞き、読み、書き、話すことがどんなに大変で

あるかを考えるとき、母国語のありがたみが分かります。大人は毎日、たくさんの人と会っています。他人との交渉のほとんどは言葉を通してなされます。豊かな語彙をもっていて、自分の考えていることや感じて

いることを正確に、かつ美しく相手に伝達できるかできないかは、その人の人生の質を決定するといってもよいと思います。

いわゆる井戸端会議の雑談ができない人は、まずいけません。お茶菓子さえあれば二時間でも三時間でも話せるという人もいます。親しい仲間とおしゃべりは楽しいものですが、それは別に、一定の内容のあることをきちんと筋道を立てて話すこともできなくてはなりません。

そして、この能力は子供の時の言語的環境、具体的に言うとなんか親や母親がどんな言葉で、どんな内容のことを話したり子供に言ったりしているかによって左右されるところが大きいのです。

父親が怒鳴ったり、しかつたりばかりしている家庭では、家族の間になごやかな会話が進展しません。指示や命令が与えられるだけでは、言葉は豊かになりません。言っていることと聞けないことの区別、物を頼むときや断るときなどの言い方、断定的に言うべきことと推測の部分があるときの違いなど、子供に教えることはたくさんあります。



飛び出すな、ぼくたちみんなの合言葉

お知らせ



巡回児童相談会
のお知らせ

日ごろ、お子さんのことで悩んでいること(例えば身体の不自由、知恵遅れや学校や家庭で困っている等)についての相談会が左記の日程で開かれます。

12月の健康
ごよみ

- 11日(金) 乳幼児健康相談
母子センター
午前9:30~9:45(受付)
乳幼児健診
母子センター
午後1:00~1:30(受付)
- 14日(月) 母親教室
母子センター
午前9:30~9:45(受付)
- 15日(火) 成人病予防教室
山小屋公民館
午前9:30~12:00
- 24日(木) 三種混合予防接種
就改センター
午後1:30~2:00(受付)
- 25日(金) 三種混合予防接種
須釜公民館
午後1:30~2:00(受付)

今月の納税

固定資産税(第三期分)
国民年金(十二月保険料)
納期限は十二月二十五日(金)までです。忘れずに納めましょう。

日 時: 昭和六十二年十二月十八日(金)
午前十時~午後三時

場 所: 石川保健所
相談員: 中央児童相談所の先生
児童福祉司
心理判定員

申込バ切: 十二月十日(木)
申込場所: 石川福祉事務所
(☎二六二二二三)

年賀はがき

12月15日から受付
年賀状の受付は、十二月十五日(火)から始まります。早目に出しましょう。
(川辺郵便局)

お誕生おめでとう
ございます



(10月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
川 辺	矢部 美幸	柴 浩
〃	鈴木 秀隆	和 正
〃	田子 小百合	武 恒
小 高	溝井 良枝	恒 誠
〃	添田 学	正 則
竜 崎	草野 真己	重 徳
〃	佐藤 岳生	次 博
南須釜	宗形 恭夫	徳 正
〃	草野 麻美	清 三
吉	和田 貴史	

おくやみ
申し上げます

(10月届出分)

地区	死亡者氏名	年令	世帯主名
中	永林 政二	82	恵 治
南須釜	大木 ユウ	76	嘉 彦
北須釜	矢吹 キン	85	昭 一

寄付
ありがとうございます

左記の方から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼を申し上げます。

- 山新田の真野目裕雄さんから 一万円
 - 吉の矢吹義信さんから 一万円
 - 小高の溝井喜進さんから 一万円
 - 岩法寺の塩沢邦章さんから 三万円
- (社会福祉協議会)

受け取ってますか
「公給領収証」

みなさんが、バー、スナック、飲食店などで飲食したり、旅館に宿泊したりしたときに、その利用料金に応じて、料金と一緒に10%の「料理飲食等消費税」という県税を負担しています。

お店の経営者は、料理飲食等消費税を受け取った「しるし」として、お客さんに公給領収証を渡すことが義務づけられています。

公給領収証を受け取ることによって、みなさんが負担した税金がお店を通して確実に県に納められることとなります。そして、住みよい郷土、明るい社会を築くために役立っているのです。公給領収証を必ず受け取りましょう。

村のようす
(62年11月1日現在)

- 1,551戸(±0)
- 7,560人(+14)
- 3,731人(+6)
- 3,829人(+8)